



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育なう

No.6

2026年9月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111 (内線 208)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

「家庭教育なう」は、恵那県事務所の HP からご覧いただくことができます。 QR コード→



親子で互いの良さを伝え合い、子どもの生きる力を高める!

多治見市立小泉中学校 PTA 家庭教育委員会「Good Point Week」の取組

計画日時 令和8年11月第3週 家庭の日の実践に合わせて

参加者 中学生 504 名とその保護者

家庭で挑戦! 「Good Point」を意識して伝え合うことで力強く子どもを育てよう

多治見市立小泉中学校 PTA 家庭教育学級では、毎年、親子で互いの良さを伝え合える機会となるように願って「Good Point Week」の取組を行っています。その趣旨は、次のように保護者、生徒に紹介されています。

< ↓ 家庭教育委員会からの案内 ↓ >

第3回

Good Point Week

小泉中学校 PTA 家庭教育委員会

期間: 11月10日~16日 (家庭の日11月16日) ← 昨年度の期間です

11月16日は家庭の日、その前後一週間が Good Point Week です♪

ぜひこの機会に Good Point (良いところ・ポジティブなアクション) を意識して伝え合うこと、ご家庭で挑戦してみませんか?

予想できない変化の大きい社会で、子どもたちに力強く生き抜いてほしいと願っています。これからどんな社会であろうと、その力強く生き抜く力を育てるには…

①人を大切にできる力 ②自分を大切にできる力
③自分を表現する力 ④チャレンジする力

← 家庭でこうした力をつけようと明確にしている試みがすばらしいです

この4つの力がとても大切だと伺いました。学校でも、よい姿や行動を、教師も仲間も認め合う活動、生徒の自信を高めるような声掛け、取り組みを行っています。

そこでご家庭でもお互いを高め、認め合う時間をつくり、この期間中に「じぶん」ってどんな存在なんだろう? と、子どもと一緒に見つめてみる機会にしたいかがでしょうか? 下記の Good Point をご参考下さい。

今回は、この取組の素晴らしいところを紹介します。

Point 1 親子の関わりを自然に醸成するきっかけ

子どもは、中学生になってやがて自立の時期を迎えます。このころは、一番身近な存在の家族(親)に、なかなか素直になれない時期であるとも言われています。

この取組はこの多感な中学生に、ポジティブな言葉を掛け合うものです。お互い、忙しい日常に流されず、立ち止まってふれ合い、関わりをより深める機会になります。

Point 2 培いたい力を明確に

子ども

ジブンミエルカ

「じぶん」ってどんな存在? じぶんを知らう♪
感じた事や思いに気づいてくれると嬉しいです。正確はいいものなので、バズしても OK! 嘘でも OK! じゆうに書いておきな

学校とは? 学校って? じぶんにとって...

幸せってどんなとき? 辛いことある?

← 左の資料は、生徒が記入するものです。自分を客観視して、周りの環境を見つめるねらいがあります。視野の広がりが期待できます。

Point 3 「やってよかった!」実践の手応え

取組の様子は家庭教育通信「ポジティブ小泉」で紹介されます。↓ (昨年度の通信の一部を抜粋)

ポジティブ小泉

令和7年度小泉中学校 PTA 家庭教育委員会 PTA 事務局

★家族で見つけた Good Point!

家庭でよい姿を見つけて、シートを通して伝え合いました! 伝え合った言葉は...

【参加率】53%

ありがとう 98人	拍手! 14人	がんばったね 41人
すごい! 50人	おもしろ~ 7人	センスいいね 1人
いいね! 27人	最高! 8人	かわい! 8人
ナイス! 15人	なるほど~ 10人	さすが! 22人
ハイタッチ! 9人	うれしい! 13人	すごい! 6人
天才! 5人	助かったよ 22人	その他にも...

○学校とは? 学校って? 自分にとって...

○家族と居て、ゆっくり過ごすとき

○友達と話したり、遊んだりするとき

○自分の好きなことをしているとき

○趣味の時間や推し活をしているとき

○何かを達成した満足感が溢れたとき

○「ありがとう」と感謝されたとき

○美味しいものを食べているとき

○寝ているときや休日 など

○生徒の感想

最近ではよく家族で食卓を囲んで、食事をするのが増えてきた。たくさん話をしながら食べることで、楽しく食事をするのができている。家族との会話も、今まで以上に増やしていきたいと思った。(3年生)

親から「すごいね」「頑張ったね」とたくさん褒められてうれしかったし、勉強やスポーツを、これからも頑張ろうと思った。そして、努力することは決して無駄ではなく、結果が必ず出るということも分かった。これからは、いろいろなことに進んで挑戦し、努力していきたい。(1年生)

○保護者の感想

中学生という多感な時期に入り、この一週間は子どもと同じ目線で、同じ気持ちになって物事を考えたり、心の内を聞いたりして、小さなことでも褒めることに気が付けた。互いに認め合うことで、力強く社会を生き抜く力が育っていくことにつながると改めて学ぶことができた。

保護者の意図的、能動的な働きかけで、子ども(生徒)の自尊感情もあがり、主体的に生きようという願いが引き出されていることがわかります。

子育て支援センターで「就労・子育て」の悩み・不安に対応

瑞浪市竜吟地域子育て支援センタースマイル「就労・子育てに関する講座」

日時 令和8年7月14日(火) 10時00分～10時50分(第1回) 1/4(4回開催)

場所 瑞浪市竜吟地域子育て支援センタースマイル

参加者 子育て中の保護者7組(見守りあり)

講師 酒井里佳さん(就労支援相談専門職)、高城圭那さん(子育て支援相談専門職)



講座に参加して、「子育てと仕事の両立」のもやもやが少し晴れました



岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センターでは平成28年から就労・子育てに関する相談講座(キャリア☆ナビ)を実施しています。【センターの拠点は岐阜市 OKBふれあい会館9階「男女共同参画・女性の活躍支援センター」です。】

今回は、東濃圏域の方々にもセンターの講座、相談を受けることができる機会として、瑞浪市にて開催しています。その第1回目の会場となったのが、瑞浪市竜吟地域子育て支援センター「スマイル」です。今回は定員上限の8組の方の申込みがありました。講座の内容(概要)は以下のようでした。

あなたはどのタイプ?～生活シーンから考える適職診断～

- 1 あなたの可能性を調べてみよう(セルフチェックシート記入)
- 2 興味・関心のある仕事は?(六角形の図に転記、講師より説明)
- 3 パーソナリティ(性格)及び職業の特長の分類(ホランド理論より)
- 4 新しい一歩のために(これまでの仕事について振り返り)
- 5 再び働く=新しいルールで(自分以外の力の活用について)

参加者は課題意識をもち、しっかりと講座の内容を学んでいました。お子さんは、スマイルスタッフの遠山さん、小栗さんが対応してみえました。瑞浪市市民協働課の三浦課長補佐も同行されてこの事業を見届けられました。

○参加した方の感想

「私は、結婚、出産を機にこの瑞浪市で生活するようになりました。地元でないの、周りに相談する人がなくて、仕事をするにはどうするといったのかなど漠然とした不安を抱えていました。今回、そんな相談にのってもらえそうでしたので、参加してみました。お話を聞いて自分の向き不向きわかりましたし、なにより助けてくれる人がいることに気づきました。」



会場の様子

講座担当の酒井さん・高城さん

○3圏域での就労・子育てに関する講座(キャリア☆ナビ)とは

本講座は平成30年より定期的に開催され、令和7年度までに実施回数は118回を数えます。講座開設回数参加者は487名、その後行われる相談には384名の方が参加してみえます。就労と子育てに関する相談を行うことで、自分の道を見つけて行かれた方もたくさんいらっしゃいます。もし就労と子育てについて考えてみえる方、漠然とした不安を感じられる方は、この機会に一步踏み出して、参加してみませんか。竜吟地域子育て支援センター「スマイル」では、今後以下のように開催されます。↓

7月14日(火)	8月25日(火)	9月15日(火)	10月20日(火)
あなたはどのタイプ? ～生活シーンから考える適職診断～ 仕事にはいろんな種類があります。自分のタイプを知って仕事の可能性を広げましょう。いま働いている方がキャリアを振り返り、今後のプランに役立てることもできます。	私らしく働いて? ～何のために働く?これからどうしたい?～ 働くことへの不安や迷いを整理し、自分らしい働き方を考えるきっかけになります。自分が大切にしたいことや今までの経験から、どうしたいかを考えます。	アンコンシャスバイアス ～あなたにもある思い込み～ 無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)で自分の考えを狭めています。自分の持っている思い込みに気づいて、視野を広げましょう。人間関係の悩みが軽くなるかもしれません。	育休・仕事復帰を 考えよう ～仕事も家庭もあきらめない～ 家事育児と仕事の両立について不安を感じていませんか。復帰後の生活をイメージし、今出来る対応策や、復帰のための準備について考えることで、前に踏み出すことができます。



お申し込みはこちらから(24時間受付)

申込締切 各開催日の前日の12時まで

問合せ先 瑞浪市役所 市民協働課 0572(68)9756

岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター 058(214)6431

「講座を受けてみて、自分がどういう仕事に向いているかがわかりました。また、仕事に復帰するときに、周りとのコミュニケーションが大事になってくることをあらためて感じました。やはり、育児と仕事の両立についてはまだまだ不安があるので、次の講座も申し込もうと思いました。」

○講師の方から

「子育てと仕事の両立にはどなたも不安をかかえています。やはり、周りの方の理解、協力が大事になってきます。一人で頑張り過ぎず、公共の支援や周囲の支援を使って少しでも不安を軽減していただきたいと思います。」

厚労省の国民生活調査からも「母親が仕事あり」と回答した割合は81.2%(R7)となり過去最高となっています。本講座は自身の良さに気付け、視野が広がる契機となります。就労と子育てについて不安や悩みをもってみえる方はもとより、これからの自分の生き方を考える上でも、とても参考になる講座です。

食に関する理解と実践を深める～小学校における家庭教育学級～

土岐市泉小学校 PTA 家庭教育委員会「五感で学ぶ食育講座」

日 時 令和8年7月14日(火) 12時00分～14時30分頃
場 所 土岐市立泉小学校 会議室
参加者 全学年の保護者(希望者) 27名
講 師 鈴木 晃子 栄養教諭



給食参観(見る)、配膳(触れる)、試食(味わう・匂い)、講話(聞く)に学び、茶話会でつながる



試食会の様子

土岐市立泉小学校 PTA 家庭教育委員会主催、「五感で学ぶ食育講座」について紹介します。

泉小学校では、数年ぶりに給食試食会・食育講話を実施し、食育について学ぶ機会としました。「五感で学ぶ」のタイトルに土本家庭教育委員長の思いがこめられています。

事前の案内の抜粋です。大きな文字、見やすいイラスト、QRコードによる申込など、参加したくなる工夫がいっぱいでした。

「五感で学ぶ食育講座」の案内に登場しているのは泉小の「マスコットキャラクター(はっちゃん、わっちゃん、にっこちゃん)です。」

何色の食缶が好き？
家に帰ったら
給食の話をしようね！

食缶が色分けしてあります。
百聞は一見に如かず。
参観するとわかります。



どんなお話聞いたの？
どんなお話したの？
教えてね！

親子の会話をさりげなく推奨しています
牛乳も美味しいよ！

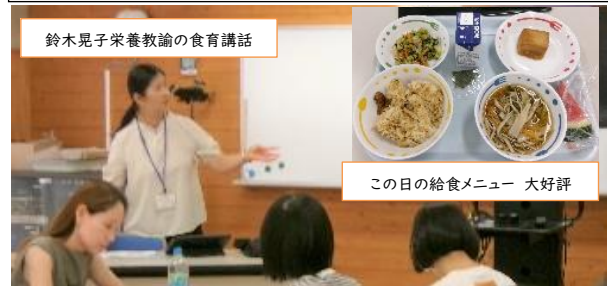
食育講話のお話(概要)

事前に参加者にアンケートを取って内容を構成されました。

- 0 給食を作っています 動画にて紹介
- 1 なんでも食べる子へ ～食体験の大切さ～
- 2 野菜を食べていますか
- 3 うんちのはなし
- 4 食塩摂取量について
- 5 捕食について



鈴木晃子栄養教諭の食育講話



この日の給食メニュー 大好評

参加者の感想

○給食配膳見学より
「なかなか子どもたちの配膳の様子を参観することはありません。最近こちらに

引っ越してきたので、こうした機会はとてもありがたいと感じ参加させてもらいました。」



みんなで協力して配膳

○配膳・給食試食会から

「とてもおいしくいただきました。お腹がいっぱいになりました。給食はいろいろなことがよく考えられて作られていることがよくわかりました。」

○食育講話から

「塩分のお話で、お塩の代わりに味の工夫でゴマ和えにしてみるというのは、なるほどと思いました。鉄分もとることができそうですし、帰りに買って帰ろうと思いました。」



なごやかな雰囲気茶話会

○茶話会(自己紹介+食育について+フリートーク)から

「給食をつくる様子が動画で紹介されていたのが印象に残りました。野菜の葉物を一枚一枚洗っているところで、あんなにしっかりと見て作ってくれていることがわかりました。家でも子どもたちと話してみます。」

担当者の「参加者の皆さんと学びたい」という思いが感じられる工夫が随所にありました。「給食参観⇒配膳・試食⇒食育講話⇒茶話会」の流れは、自分の学びを参加者同士交流し、「つながり」づくりのきっかけになる構成でした。「学びのある家庭教育学級」として、とても参考になる実践でした。🍎

事業所でも親子の「つながり」を深める取り組み

岐阜県恵那総合庁舎合同「子ども参観日」

日 時 令和8年8月21日（金）8時30分～12時00分
場 所 恵那総合庁舎敷地内及び各事務所内
参加者 恵那総合庁舎内に勤務する職員の親子
担 当 恵那県事務所振興防災課



親の働く姿を見学して、親子で仕事と家庭のあり方を考えるきっかけに！

「子ども参観日」を実施しませんか？

この取組は岐阜県庁では平成23年度から実施しており、今回で11回目となります。好評な取組のため、今年から、各地域の県事務所でも同様の取組を開催することとなりました。恵那県事務所では、記念すべき第1回目を以下のように実施しました。

当日のスケジュール

～ 8:30 親と一緒に通勤体験
8:30～ 8:45 はじめの会
8:45～10:30 オリエンテーション
10:30～11:30 体験活動
11:30～12:00 本日の振り返り、アンケート記入
12:00 解散（親と食事、一緒に帰宅）

今回は2組の4名の申込みがありました。参観日の内容（概要）は以下のようでした。活動の様子を写真にて紹介します。



オリエンティング：この日の活動内容を知ります。



施設見学：防災備蓄倉庫の中味を知りました。



施設見学：公用車について説明を聞きました。



施設見学：屋上から「笠置山」を展望しました。（雲？）



体験活動：名刺交換にチャレンジしました。

〇参加した子どもたちの感想

「屋上から見た景色、名刺交換が印象に残っています。初対面の大人話すのは少し苦手意識があり、緊張しましたが、名刺を交換するのは、楽しくできました。」
「パソコンの台数を確認したこと（職業体験）が心に残っています。家で、お母さんから仕事の話を聞いていました。職場を見学して、そのことがさらによくわかりました。」
「お父さんの仕事の様子がよくわかりました。仕事の様子を見るのはこれまでの県庁での見学から、今回で3回目ですが、それぞれ違いがあることがわかりました。」
「見学で、棟の名前がいろいろあることがわかりました。お父さんの仕事の様子がよくわかりました。」

取材を終えて 専

参加の動機を尋ねると「お父さん、お母さんの働いている姿が見たかった」とのこと、見学する子どもたちの表情がとてもうれしそうでした。保護者の方からも、家に帰ってから報告、感想などを聞いたと伺いました。「親の背を見て子は育つ」という「ことわざ」を思い出しました。

「子ども参観日」は、学校で実施される「授業参観日」とは逆に、夏休みなど学校の休業日を利用して、子どもたちが自分の保護者等の職場や働く姿を見学する取組です。（岐阜県男女共同参画推進課より）

県では、企業におけるワーク・ライフ・バランスの取組を促進するため、子どもたちの勤労観、職業観を育み、家庭での親子のコミュニケーションや絆を深められる「子ども参観日」の実施を県内企業等に推進しています。

「子ども参観日」の実施に関心のある方は、県男女共同参画推進課（TEL058-272-1111内線3572）までお問い合わせください。